

# 令和4年度 越前市味真野小学校スクールプラン

## 教育目標

校庭の桜のように、元気で優しくたくましい味真野の子を育てる

## めざす子ども像

○よく考え、進んで学ぶ子 ○みんな仲良く、優しい子 ○健康でたくましい子 ○最後まで取り組む子

## 重点目標

### 確かな学力の向上

- 学習指導の推進と基礎・基本の徹底
- 対話を通して学び合う児童の育成
- 児童が主体的に参加する授業の推進
- 学力の土台となる言語能力の向上・読書活動・NIEの推進

### 豊かな心の育成

- 道徳教育の充実
- 人権を尊重した、温かい人間関係づくり
- プロジェクト型活動の推進
- 夢や希望を持ち、その実現に向け、最後まで諦めずに取り組む態度の育成

### 健やかな身体の育成

- 生涯にわたり健康な生活が送れるような規則正しい生活習慣の確立
- 体力向上の推進
- 生命尊重に基づく危機回避能力の育成

### 地域と共にある学校

- 主体的に地域社会と関わろうとする態度の育成
- 地域の資源活用の推進
- 地域の未来の姿を見据えた地域と連携した学校づくり
- 地域と連携した安全・安心のための取組

本年度の主な取組

- ◎「読解力」を意識した課題や発問を通して、文字やグラフ、話す言葉から内容を読み解き、理解する手立てを工夫する。
- ◎よく考え、よくわかり、新たな発見と驚きを見つけることができる授業作りを行う。
- ◎GIGA端末を活用した「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりを行う。
- ◎進んで読書する児童の育成のため、読書に親しむ時間の設定などの工夫を行う。
- ◎新聞を活用した学習等により、書く力・伝える力・言葉の力・社会性を伸ばす。

- ◎心に響く道徳教育の推進を図り、自尊心や自己肯定感を高める心の教育に努める。
- ◎教育活動を通して、自己有用感を高めると共に、自分の将来について考え、夢を抱く児童を育てる。
- ◎豊かな体験活動を通して道徳的実践力や人権意識を高め、規範意識の向上が図られるような機会を増やす。
- ◎「いつでも、どこでも、誰にでも」明るいあいさつや声かけができる児童を育てる。
- ◎教育相談体制の充実により、いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期解決に努める。

- ◎スマイリーカードの取組の継続により、望ましい生活習慣を定着させる。
- ◎ボールなどの道具を増やし、クラスや委員会などで体を動かす遊びを奨励し、活動する意欲を高める工夫を行う。
- ◎ボランティアや保護者との連携を密に図りながら、児童を取り巻くリスクを想定し、実効性のある安全教育活動を行い、児童の危機回避能力を高める。

- ◎地域の人材や地域の特徴を生かした豊かな体験活動を推進する。
- ◎地域のボランティアや外部講師の積極的な受け入れ体制の整備を行う。
- ◎便り・HP等で情報を積極的に発信して学校理解を深め協力を得られるように努める。
- ◎家庭と連携して情報モラルやネット社会の危険性について考え、「わが家のインターネット10カ条」を推進する。

数値目標

- 情報を整理・分析し、自分の考えをわかりやすく伝えるためにまとめられる児童【80%以上】
- 授業がよく分かり、基礎的な学習が理解できている児童【80%以上】
- 読書活動・NIEを推進する教師【80%以上】

- 他の子を尊重し、仲良く助け合おうとする児童【90%以上】
- 自分から先に大きなあいさつをし、感謝の言葉を素直に伝えられる児童【90%以上】
- 学校へ来るのが楽しいと感じられる児童【90%以上】

- 早寝、早起き、朝ご飯、など基本的な生活習慣を守っている児童【90%以上】
- 進んで体力向上に努める児童（マラソン、縄跳び、体を動かす遊び）【80%以上】
- 毎日安全に気をつけて 登下校したり遊んだりしている児童【90%以上】
- 感染症に関する健康観察、予防に関する指導、心のケアに関する指導の徹底【教職員100%】

- 地域の教育資源を活用した取組を計画的に取り入れる教師【各学年1教材以上90%】
- 学校の教育方針や児童の様子、取組を理解している保護者【80%以上】
- 「わが家のインターネット10カ条」について家族で話し合い、守ろうとすることが出来たか。【80%以上】

校内研究では次のテーマのもとに教材研究を深め、指導力向上に努めます  
研究テーマ

「きたえよう読み解く力」～自ら、考える力や情報を整理・分析する力の育成～

「学校における働き方改革」に関して次のことに取り組みます

- ① G I G A端末を活用した校務の効率化を図り、仕事がしやすい職場環境を構築する。
- ② 校内に蓄積されている教育資源の共有化を図り、業務の一層の効率化を図る。
- ③ 水曜日をノー残業デーとし定時に退勤、その他の曜日でも遅くても19時まで退勤する。
- ④ ボランティアや外部講師の確保と積極的な活用を通して教育活動の効率化を図る。